

新耐震木造住宅検証法による所有者チェックシート（2000年5月以前新耐震基準用）

【申請者】(氏名)
 (住所)
 (電話)

【新耐震木造住宅検証法とは】



【問 合 先】〒491-8501
 (住所) 一宮市本町2丁目5番6号
 (担当) 住宅政策課 対策グループ
 (電話) 0586-85-7010

ステップ1 「新耐震木造住宅検証法」の対象となる住宅かチェック

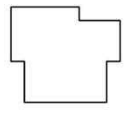
1981年6月から2000年5月までの間に建てられた木造住宅ですか？
はい (建築年月: _____ 年 _____ 月) いいえ
はい (よくわからない・基礎がコンクリート造ではない) いいえ
 在来軸組構法の住宅で基礎がコンクリート造ですか？
はい いいえ (3階建て・1階が鉄筋コンクリート造または鉄骨造)
はい (平屋建て・2階建て) いいえ
 平屋建て、または2階建てで、全ての階が木造ですか？
はい (平屋建て・2階建て) いいえ
 ステップ2の「所有者等による検証」へお進みください。

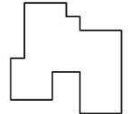
新耐震木造住宅検証法の対象外
(無料耐震診断も対象外)

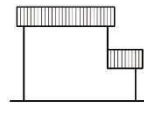
ステップ2 所有者等による検証

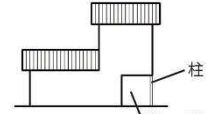
チェック1 平面形状、立面の形状は整形ですか？

はい (比較的整形です) いいえ (不整形・よくわからない)


 整形

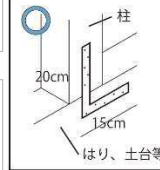

 不整形

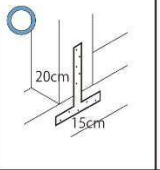

 整形

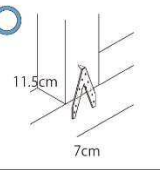

 不整形
ガレージ

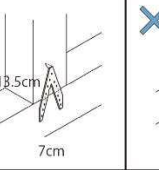
チェック2 柱とはりの接合部に接合金物が使われていますか？


はい (金物が使われている) いいえ (接合金物が使われていない・よくわからない)


柱
はり、土台等


20cm
15cm


11.5cm
7cm


13.5cm
7cm


12cm
または
15cm
径6mm

(裏面へ続く)

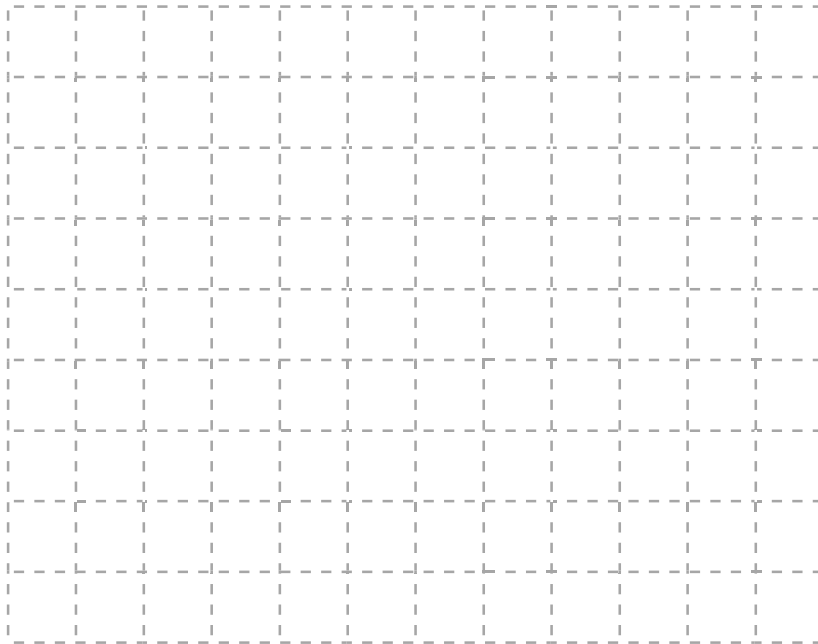
本チェックシートは、(一財)日本建築防災協会発行「一昭和56年6月から平成12年5月までに建築された一木造住宅の耐震性能チェック(所有者等による検証)」に基づき、愛知県内で実施する木造住宅無料耐震診断で使用するものです。

ステップ2 所有者等による検証（続き）

チェック3 1階の外壁面（4面）で、窓やドアなどの開口のない壁の長さの割合は0.3以上ですか？

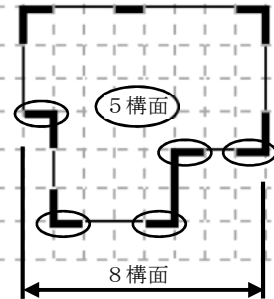
はい（すべての面で0.3以上である）

いいえ（ひとつの面でも0.3未満がある・よくわからない）



（計算例）

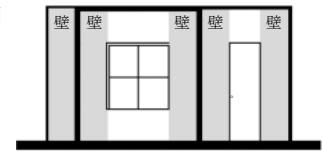
平面図



$5 \text{ 構面 (壁)} \div 8 \text{ 構面 (全面)} = 0.6$

≥ 0.3

立面図



チェック4 劣化のチェック 合計 _____ 点

	1点	0点
外壁	ひび割れや剥落、水浸み痕、こけ、腐朽などが全くない。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	ひび割れや剥落、水浸み痕、こけ、腐朽などがある。
屋根	瓦やスレートが健全で、棟や軒がまっすぐで波打ったりしていない。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	瓦やスレートが割れたり、棟や軒が下がったり波打ったりしている。
基礎	ひび割れが無く健全である。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	ひび割れが散見される。
床	傾斜が無く、大きなたわみや振動が無い。あるいは、リフォームを行っている。	傾斜がある。または過度のたわみや振動がある。
浴室	ユニットバス。あるいは、リフォームを行っている。	タイル貼りなどの在来浴室。

ステップ3 所有者等による検証結果

回答結果	判定（いずれかに○）
ステップ1で「新耐震木造住宅検証法の対象外」の場合	専門家による検証が必要 （専門家による無料耐震診断の対象）
ステップ2のチェック1～3でひとつでも「いいえ」がある、 またはチェック4で3点以下の場合	
ステップ2のチェック1～3ですべて「はい」 かつ、チェック4で4点以上の場合	一応倒壊しない ※地盤については考慮していない

本チェックシートは、（一財）日本建築防災協会発行「一昭和56年6月から平成12年5月までに建築された一木造住宅の耐震性能チェック（所有者等による検証）」に基づき、愛知県内で実施する木造住宅無料耐震診断で使用するものです。